

京都橘大学 安土未来づくり応援プロジェクト 第5回フィールドワーク概要

■はじめに

京都橘大学安土未来づくり応援プロジェクトは、2021年度は現代ビジネス学部都市環境デザイン学科において「文化資源デザイン論」という授業カリキュラムを基盤として実施をスタートさせた。その後、2022年度からは学部改変にともない経営学部経営学科における「公共マーケティング」という新カリキュラムに移行した。その後、さらなるカリキュラム改変となり、来年度より「公共経営」となる。経営学部の設置により受講希望者が増大し、今年度もランダム選考により受講生を200名に制限することになった（出席状況により調査者は最終191名）。授業規模から本年度もグループ型のフィールドワーク方式を採用しているが、昨年よりも多い40グループとなった。コロナ禍以降、チーム内コミュニケーションを円滑にするため1チーム当たり4～5名にしている。数年実施してきたヒアリング調査については、かなりの数となってきたため本年度は実施せず、具体的な「ツール作成」の課題を課すこととした。主として、学生ならではの観光コースの提案や観光ガイドなどを作るチームが多かった。中にはショート動画を作ったチームもあった。フィールドワークは今回で5年目となり、資源情報の掘り起こしや提案内容はほぼ出尽くしているため、授業での取り組みは今年度でいったん終了することとした。

■フィールドワーク内容

- ・実施日：2025年7月13日（日）※この日を教員が参加する基本日とし、グループ毎に日時を設定して分散してフィールドワークを実施。
- ・集合：10：55 安土駅の観光案内所
- ・見学：見学必須場所・安土城郭資料館
- ・チームフィールドワーク活動：
 - ① 安土エリアの地域診断
 - ② 安土エリアの地域資源対象へのヒアリング（希望チーム）
- ・解散：15：00 安土駅の観光案内所

■最終課題について

- ・学生目線での安土観光ツールの開発

■参加学生

全191名（チーム構成：40チーム、1チーム4～5名とした）

■授業担当者

木下達文（京都橘大学経営学部経営学科教授）